

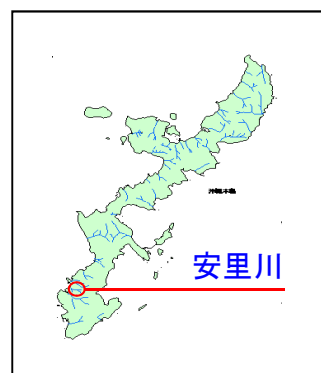
あさと
安里川河川改修事業
— なはし —
那覇市

1. 概要

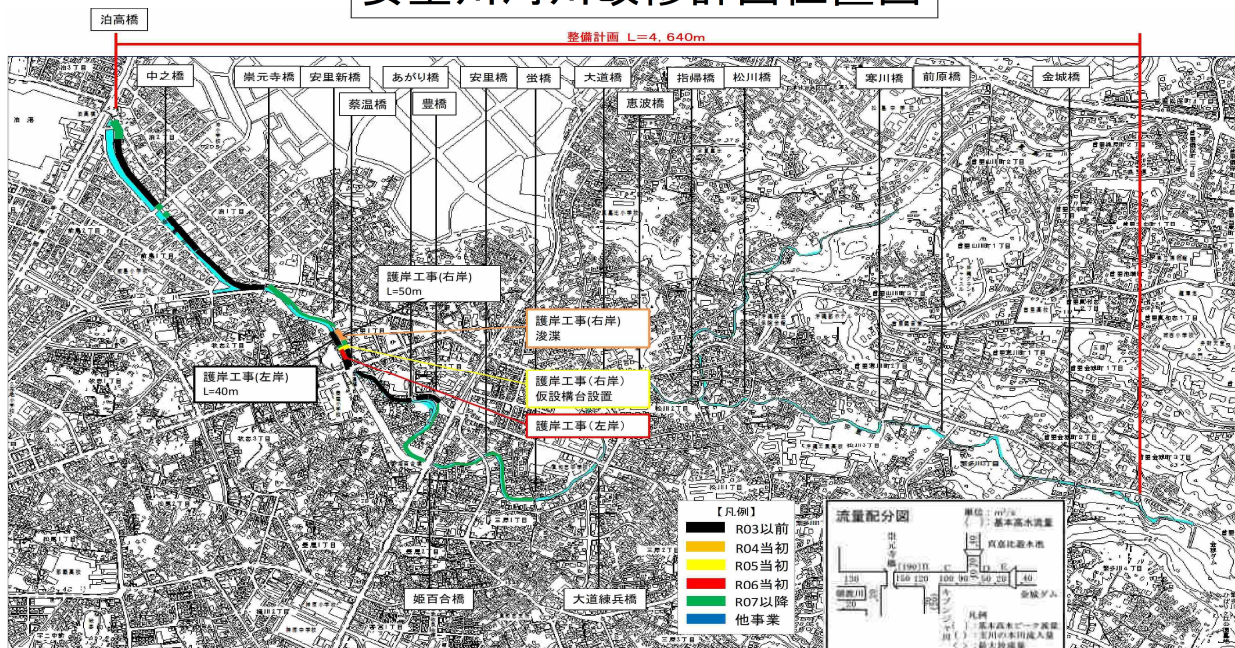
那覇市の中心市街地を流れる安里川は、流域面積8.6km²、流路延長7.26kmの2級河川であるが、蛇行し狭小な河川のため過去に浸水被害が多発したことから、昭和47年度に河川改修に着手し、下流から順次河川整備を実施している。蔡温橋から牧志・安里地区再開発事業区間は平成22年度までに整備を完了し、現在、豊橋下流部の改修工事及び安里新橋～泊橋間の河床掘削を実施している。今年度も同区間の河川改修を継続して実施する。

2. 事業内容

- 整備箇所 : 那覇市
- 整備内容 : 護岸計画 L=4,640m
- 事業期間 : 昭和47年度～令和15年度
- 令和5年度事業概要 : 護岸工、河道掘削工 一式



安里川河川改修計画位置図



こくばがわ
国場川河川改修事業
 なはしはえばらちよう
 一那覇市・南風原町一

1. 概要

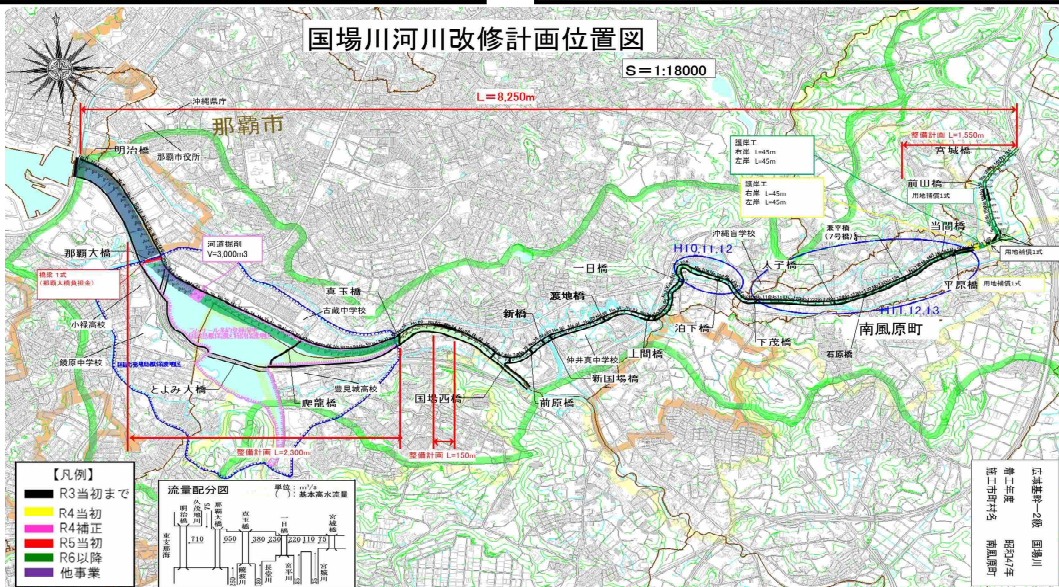
2級河川国場川水系国場川は、流域面積 43km²、流路延長11.25kmの沖縄県では比較的大きな都市河川であり、昭和47年度から河川改修事業を進め、平成30年度までに河口から平原(ひらばる)橋下流までの約 7.2kmの区間が概成している。しかしながら、未整備区間においては、河川断面が狭小なため、浸水被害が多発しており、平成11年9月の台風18号においては、浸水戸数163戸、道路冠水などの被害が報告されている。

このことから、未整備区間となる平原橋から上流に向けて広域河川改修事業を実施し、重点的に河川改修を行うことにより、計画規模の出水に対して浸水被害の解消を図る。

また、上流部の河川改修と併せ、護岸整備を先行した河口から真玉(まだん)橋までの間の河床掘削を実施する。

2. 事業内容

- 整備箇所 : 那覇市、南風原町
- 整備内容 : 護岸計画 L=8, 250m
- 事業期間 : 昭和47年度～令和13年度
- 令和5年度事業概要 : 護岸工、磁気探査、用地補償一式



あじやがわ
安謝川河川改修事業
— 那覇市 —

1. 概要

安謝川は、流域面積8.1km²、流路延長5.7kmの2級河川である。改修計画延長5.0kmのうち平成25年度までに河口から国道330号までの約2.4kmを概成している。これまでの整備で下流部における浸水被害は軽減されたが、安謝川が流入する既設の国道330号横断ボックスは、その流下能力が計画規模流量に対して50%程度の能力であるため、既設ボックスの上流側では浸水被害が頻発している。

このため、今年度も引き続き国道330号ボックスカルバート工事を進めるとともに、上流に向けた河道改修を推進し、沿川の資産価値が高い安謝川流域における近年の集中豪雨による浸水被害の軽減を図る。また、地元からの要望が強い上流部延伸区間については、引き続き用地取得に取り組む。

2. 事業内容

整備箇所：那覇市

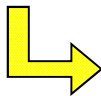
整備内容：護岸計画 L=5,000m

事業期間：昭和47年度～令和11年度

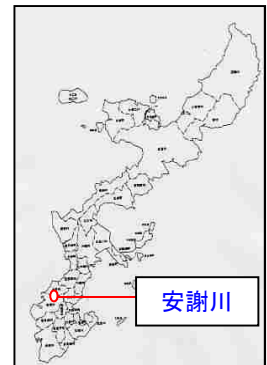
令和5年度事業概要：護岸整備、用地補償 一式



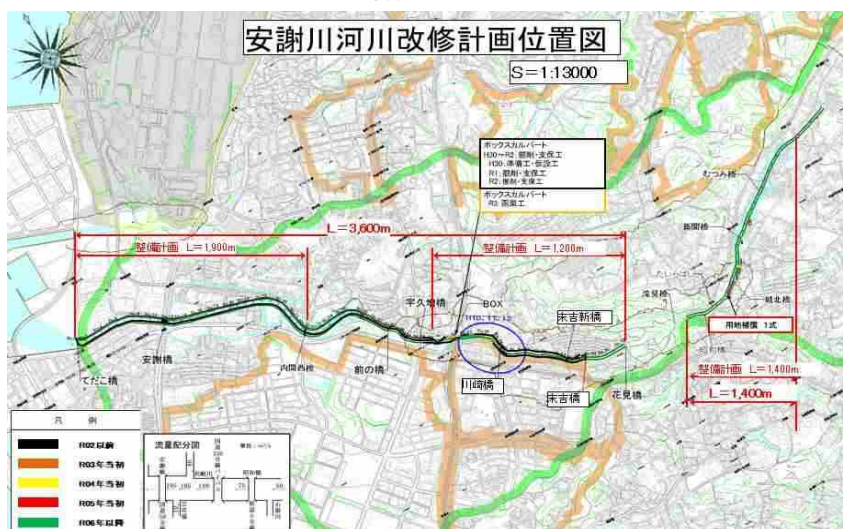
施工前



末吉新橋下流(施工後)



安謝川



中頭東部地区地すべりについてなかがみぐん きたなかぐすくそん、なかぐすくそん、にしはらちよう (沖縄県中頭郡 北中城村、中城村、西原町)

1. 概要

中頭東部地区地すべりは、沖縄本島中部の北中城村、中城村及び西原町に至る延長約8km、面積約900haにおよぶ中城湾に面する東側斜面で広範囲に連続している。

当地区は脆弱化しやすい島尻層群泥岩が分布するため、地すべり発生時には連鎖的に滑動し、広範囲に地すべり災害が発生することが懸念されている。

地すべり斜面の下方には多数の住宅等が密集し、国道329号、村役場等があり、斜面上方には世界遺産である中城城跡等の重要な歴史資産も数多く存在している。

事業にあたっては、地区を細分化し、細分化した地区毎に地すべりの危険度や保全対象の重要度を評価することにより優先度を設定し、現在、優先度の高い、当間地区、熱田地区、泊地区、奥間地区について事業着手しているところである。

2. 事業内容

- ・規模: 延長 L=約8.0km、面積 A=約900ha
- ・対策工法: 法枠アンカー工、集排水ホーリング、抑止杭工等



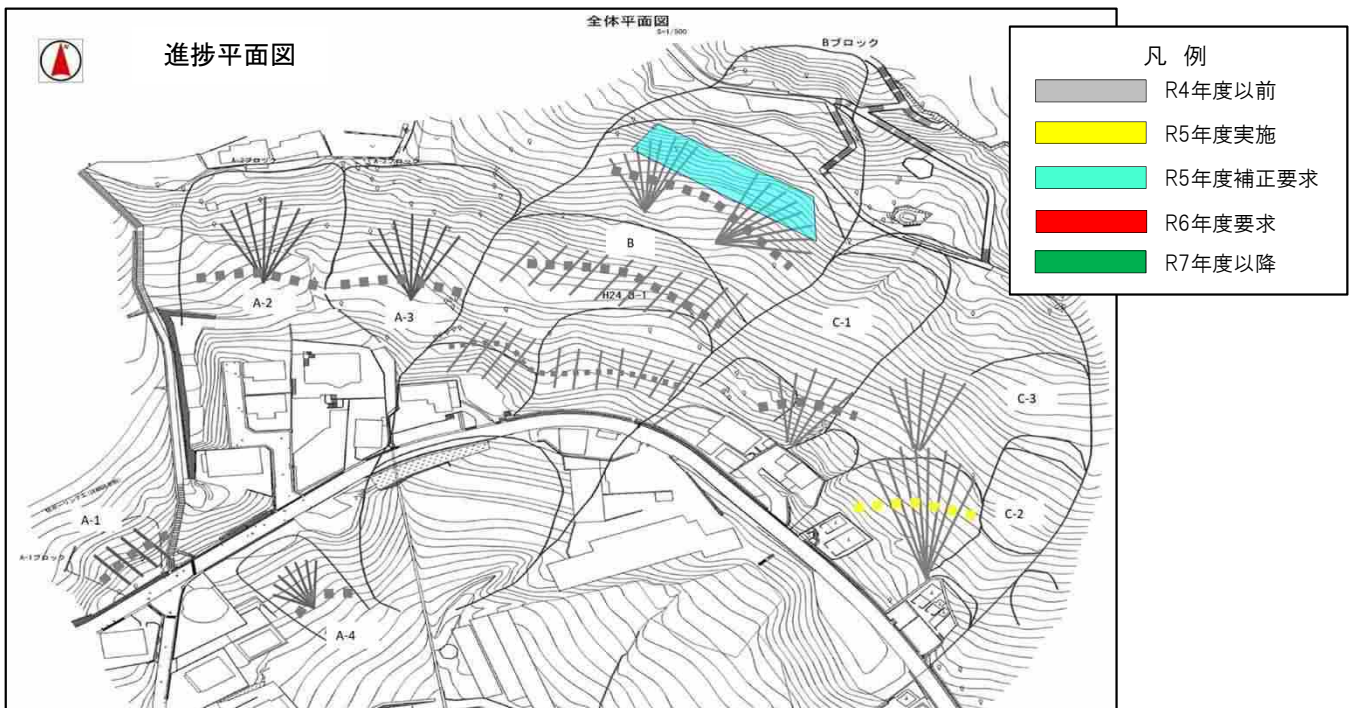
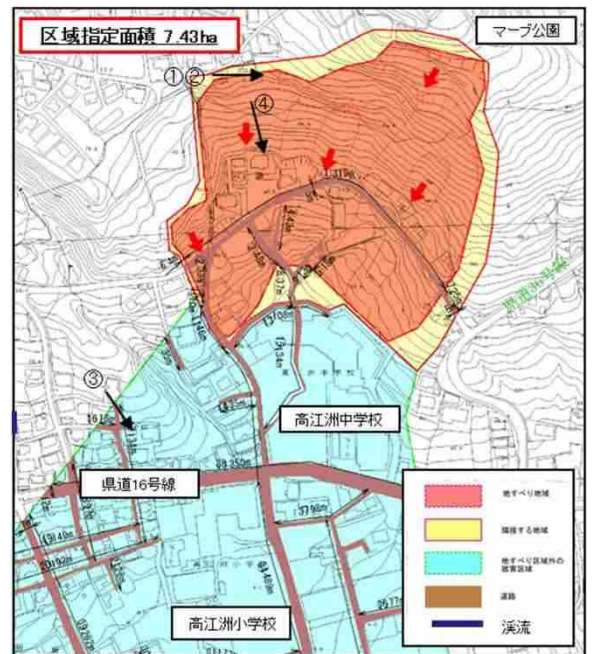
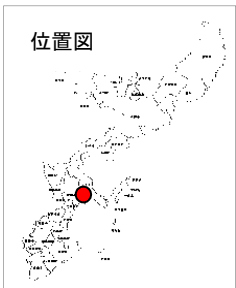
とよはら
豊原地区地すべり対策事業(沖縄県 うるま市)

○事業目的

当該地区は、うるま市豊原に位置する南向き斜面で、斜面上部の住宅地においてブロック塀の亀裂等の変状が確認されている。平成22年5月の大雨で斜面上部において段差等地形の変状が見られている。斜面部及び斜面上下部には人家がはりついており、斜面上部にはマーブ公園、下部には高江洲小中学校など、公共施設が立地している。斜面の地すべりを防止することにより、小中学生の安全確保及び住民の生命、財産を守る必要がある。

○箇所概要

保全対象: 人家98戸、県道16号線、小中学校
主な実施内容: 抑制工(横ボーリング工)、抑止杭工、法枠工
R5年度予算額: 5百万円(国費: 4百万円) R5年度実施内容: 抑止杭工
R5年度補正予算額: 95百万円(国費: 76百万円) R5年度補正実施内容: 法枠工
全体事業費: 913百万円(H26~R6) R3末進捗率(事業費ベース): 88.1%



とうま なかがみぐん なかぐすくそん
当間地区地すべり対策事業(沖縄県 中頭郡 中城村)

○事業目的

当間地区は中城村当間に位置する地すべり地で、斜面下方には人家80戸、国道329号(緊急輸送道路)、中学校、村役場等の保全対象を抱えている。このため、地すべり活動が活発化した場合には、甚大な被害をもたらすおそれがあるため、早期に地すべり防止施設の整備を行い、周辺地域の安全を確保する。

○箇所概要

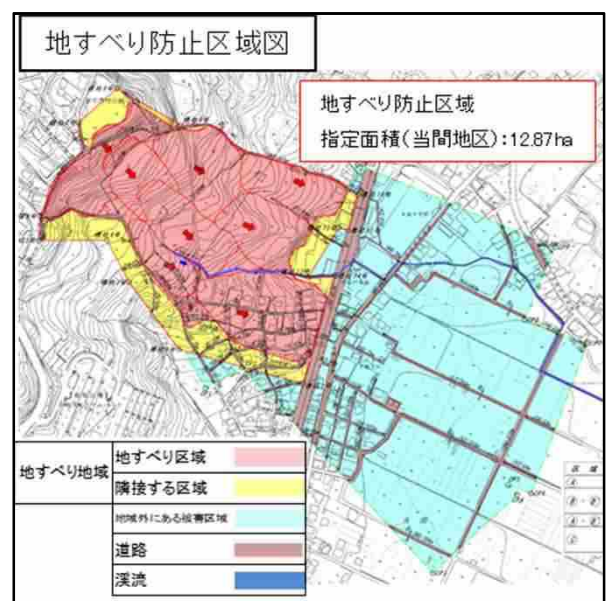
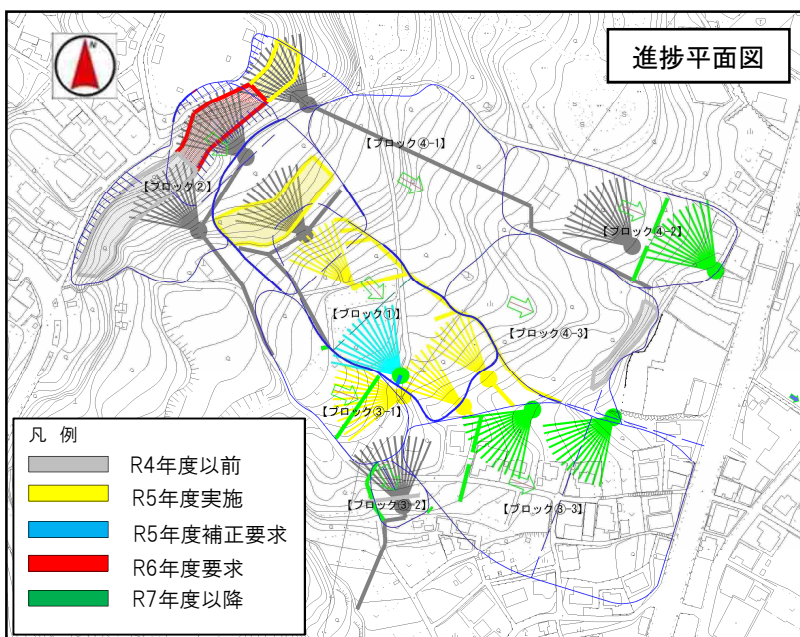
保 全 対 象: 人家80戸、国道329号、県道35号線、村道、中城中学校及び旧中城村役場

主な実施内容: 抑止工、磁気探査、現場技術業務

R5年度予算額: 35百万円(国費: 28百万円) R5年度実施内容: 抑止工、磁気探査、現場技術業務

R5年度補正予算額: 35百万円(国費: 28百万円) R5年度補正実施内容: 抑制工、磁気探査

全体事業費 : 1,473百万円(H26~R8) R3末進捗率(事業費ベース): 42.8%



はえばるかねぐすく

南風原兼城地区 砂防メンテナンス補助事業

しまじりぐんはえばる

沖縄県 島尻郡南風原町

○事業目的

当該地区の施設の現状は、老朽化に伴い、一部アンカーの緊張が緩んでいる箇所が見受けられる。存置すれば、重大な災害につながる恐れがあり、周囲への影響が懸念されることから、早急な施設改築等を実施する。

○箇所概要

- ・当該区域は、昭和58年から整備が始まり、整備後20年以上経過している。
- ・老朽化の進行が認められ、安全性に支障を来し始めている状況である。

○保全対象

人家229戸、県道241号線

○実施内容

既設) 法枠アンカー工、横ボーリング工、水路工

計画) 法枠アンカー工、横ボーリング工、水路工

抑止杭工、実施設計、現場技術業務等

R6年度予算額: 10百万円 国費: 6百万円

R6年度実施内容: 地積測量図作成・土地鑑定評価業務 一式

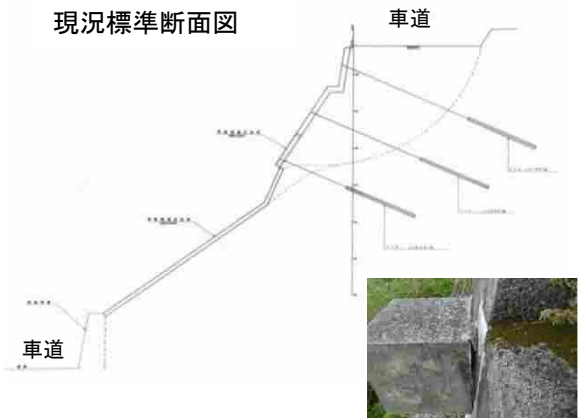
全体事業費: 640百万円

事業期間: H30年度～ R7年度

R4末進捗率(事業費ベース): 79%



現況標準断面図



法枠アンカーに浮きが見られる

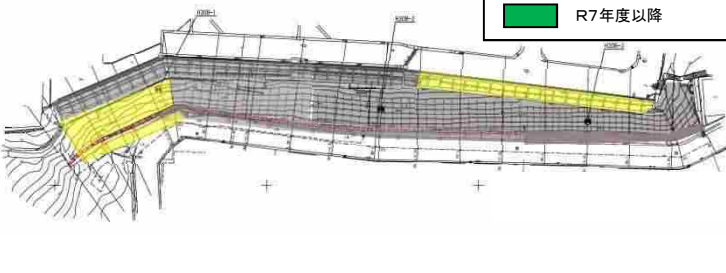
計画平面図



R6年度
 ・地積測量図作成業務
 ・土地鑑定評価業務

凡例

- R4年度以前
- R5年度当初予算実施
- R5年度補正予算実施
- R6年度当初予算
- R7年度以降



計画断面図

